

創造・誇り・愛！ 輝く七中 ^{きら}煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第9号

令和7年1月16日



とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103



七中 HP URL

江戸しぐさ

校長 水越 伸朗

新しい年を迎え、3学期が始まりました。始業式に登校してきた子どもたちの表情はとても晴れやかで、新年、新学期への希望が感じられました。今月は、3年生は本格的な入試シーズンを迎えます。ひとりひとりが目標に向けて全力で臨むことを期待しています。また、22日（水）から3日間、1年生はスキー教室、2年生は職場体験を行います。今まで準備してきたことを活かして、充実した行事にしてほしいと思います。そして、これらの行事を通し成長することを願っています。

保護者・地域の皆様には、昨年中、様々な場面においてご支援、ご協力いただきありがとうございました。本年も、七中生の飛躍を願って教育活動を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

さて、始業式では、「江戸しぐさ」について話をしました。「江戸しぐさ」については、様々なことが言われていますが、「相手を思いやる気持ちの大切さ」という視点で話しましたので、その一部を紹介します。

～始業式講話より～

今日は、「江戸しぐさ」ということについてお話します。聞いたことがある人もいると思いますが、今から200年以上前の江戸時代、庶民の間で何気なく行われていた、相手を思いやるしぐさ（行動）のことです。

そのしぐさのひとつに「傘かしげ」とよばれているものがあります。当時は今のように道が整備されていません。江戸の町も家々が立ち並び、細い路地や狭い道が多くあったそうです。雨の日に、そういった道ですれ違おうとすると、自分と相手の傘同士がぶつかったり傘の雫が相手にかかったりしてしまいます。そこで、お互いが自分のさしている傘を相手と反対側に少し傾けてすれ違うのです。そうすることによって、傘同士がぶつからず、また雫もかからずすむのです。見知らぬ人同士でも、ほんの一瞬傘を傾げる（かしげる）だけで、いやな気持ちにさせないですむしぐさ、まさに思いやりの心をもった行動です。

この「傘かしげ」以外にも「こぶし腰浮かせ」「うかつあやまり」など、いくつかのしぐさがあると言われていきますので調べてみると面白いと思います。

このような「江戸しぐさ」の言い伝えについては様々な考え方があります。作り話ではないか、庶民に道徳心を身につけてもらうために考えられた話ではないか、という説もあります。しかし、このように行動すれば、お互いにいやな思いをせず済むことには間違いありません。ぜひ、皆さんも、思いやりをもって行動できる人になってください。＜後略＞

【職員来客用玄関の一時通行止めについて】

新設体育館建設に伴い、新設体育館周辺のアスファルトの解体・設置工事を下記の日程で行います。当日ご来校される場合は生徒昇降口か、1階渡り廊下をご使用ください。

令和7年1月24日（金）10：00～16：30